

- 今月のピックアップ -

『緊立ち』

「カメラアイ」を武器に群衆の中から手配犯を捜す警視庁刑事と、広域捜査を担当する刑事。ビル爆発事件で怪我を負いながら、また凶悪犯の逮捕へと奔走しながら、そのうえで、離婚、介護という人生の壁を乗り越えていく女性刑事二人の物語。ある時、強盗および殺人の手配犯がここにいる！という緊急立ち回り情報(緊立ち)が入った！  
(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「華ざかりの三重奏」 坂井希久子著

「百年の子」 古内一絵著

「自分で自分の介護をする本」 小山朝子著

「図解でよくわかる農業と節税のきほん」 青木寿幸著

「あきらがあげてあげるから」 ヨシタケシンスケ 作 絵

「おもしろミクロ生物の世界」 末友靖隆 著

「ウンがはびこる ネット社会を生き残れ！」 佐藤和紀 監修

12月の休室日

月曜日、6日、  
月末休室(27日)  
年末休室(28日～31日)

横田「ミニ」センター図書室

「日曜劇場V・V・A・N・T」 福澤克雄 原作

「こぼれ桜」 梶よう子 著

「ぶつちやけ相続」 橘慶太 著

「分水嶺の謎」 高橋雅紀 著

「パンどろぼうとほっかほっカー」 柴田ケイコ 作

「しょうぼうのずかん」 山田タクヒロ 絵

「こうもり」 アヤ井アキコ 作

12月の休室日

日曜日、  
年末休室(28日～31日)

環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!

地球沸騰化の時代

「地球沸騰化」とは、今まで目に見えていた「地球温暖化」よりもレベルの高い危機感を伴った言葉です。

2023年7月の世界の平均気温が観測史上最高となり、日本でも、この夏の気温が40℃を超える地域も増えており、熱中症による救急搬送も昨年の同時期と比べて2.3倍となっています。約30年後には世界規模で地球環境が今よりも悪化することを懸念されています。地震や津波、豪雨・竜巻などさまざまな国や地域で災害レベルの異常気象が続いています。

自然災害は毎年少しずつ増え続け、今後さらに増えることが予想されています。

2100年頃までには、地球の温度は、1.1～6.4℃上昇するといわれ、また、海面については、18～59センチ上昇するといわれています。

「地球沸騰化」による環境の変化は、農産物の生育障害や品質低下など、農業生産にも影響を及ぼしています。極端に気温が高い年や一部地域では、米の収穫量の減少や白未熟粒の発生が報告されています。

農林水産省が進める「みどりの食料システム戦略」では、食料危機だけではなく、環境変化に対する対策も急務とされています。

災害を防ぐ対策も必要ですが、沸騰化を抑える、つまり気温上昇を抑えるために「酸化炭素(温室効果ガス)を出さない対策が重要です。

